

# 山梨県埋蔵文化財センター

## 埋文やまなし

2006.10.1

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.html>

YAMANASHI Pref  
ARCHAEOLOGICAL Cultural  
Properties Center



第24号

## 新任のごあいさつ

本年度より所長という重責を担うこととなりました。

埋蔵文化財行政が全国的にも大きな変節期にある今日、開発事業の減少化や、団塊世代専門職員の大量退職を前にして、発掘調査を主務としてきた埋蔵文化財センターの役割を改めて検討しなければならないときであると感じています。

地域の歴史や文化の原点はその地域の埋蔵文化財ですから、今まで以上に文化財保護や調査成果の発信に努めるとともに、旧来調査し保有してきた膨大な出土品などの資料を活用し、学校教育に生かすことはもちろん、地域の歴史解明や文化活動にも積極的にかかわって参りたいと考えております。

県民の皆様のご支援・ご協力と、センターの積極的なご利用をお願いいたします。

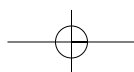
所長 末木 健



## 甲府城下町遺跡での発掘体験セミナー

### 暑さに負けず、家族一緒に楽しい発掘体験。

平成18年7月25日午前・午後（第1・2回）、8月10日午前・午後（第3・4回）に甲府城下町遺跡（甲府市内）で発掘体験セミナーを行いました。第1回目は朝方の雨で現場の足場が悪く、甲府城跡の見学会となりましたが、この他は猛暑のなか発掘体験となりました。遺跡の説明や発掘の諸注意を担当者から聞いたあと、それぞれ、箕・移植ゴテ・手かんなのセットを手に、作業員さんと混ざって発掘がはじまりました。皆さん何が出るか興味津々で、「遺物がでるまで休憩しない」と一生懸命な子供たちの姿が印象的でした。2日ともほぼ定員の参加者と盛況であり、「遺跡の発掘」という未知の体験を体全体で感じて、また参加したいというご意見もたくさん頂きました。



# 整備が進む銚子塚古墳 〈国指定史跡〉

## 周溝がグルッとひと回り！



後円部の周溝の北側と西側部分が地元の方々の協力により公有地となり、昨年度までの保存整備により、排水施設を整え、玉砂利を敷くことができました。また、これに合わせて墳丘も整形して芝を張りました。さらに、周囲にサツキなど生垣をつくり景観を整えました。これにより、周溝の中をぐるりとひとまわりしながら、銚子塚古墳をじっくりと探訪できるようになりました。

現在は、案内板を新たに整備するべく、銚子塚古墳を理解するために重要な知識を伝え、かつ全体の景観に相応しいものを検討しています。銚子塚古墳は、4世紀後半では東日本最大級の規模を誇る前方後円墳であり、豊富な副葬品が供えられていました。この当時、東国進出を積極的に行っていた畿内王権から強力な支援を受けて造られたと考えられます。このことは、古事記・日本書紀に記されたヤマトタケルの東征の帰路に甲斐国酒折宮に立ち寄った伝説からもうかがい知ることができます。10月7日(土)～11月26日(日)には、山梨県立考古博物館で第24回特別展「甲府盆地からみたヤマトー甲斐銚子塚古墳出現の背景」が開催されます。ぜひこの機会に、銚子塚古墳に訪れて下さい。



最新の考古学情報 1 <sup>いしはらだ</sup> **足原田遺跡** (山梨市万力 西関東連絡道路建設予定地)

## バラバラの土器片が立派な土器に！

今回の調査では、約300㎡を調査しました。その中の一角の約50㎡の範囲から、約2000点もの古墳時代前期（約1600年前）と平安時代後期（約1000年前）土器片が出土しました。また、川の跡と平安時代後期の住居跡が1軒見つかりました。

およそ50㎡の黒色砂質土層の中からは、古墳時代の土器片が多数出土しました（左写真）。その土器片はみな磨り減っていないもので、その場でつぶれている状態でした。

このバラバラで出土した破片を繋ぎ合わせると、古墳時代のS字状口縁台付甕（右写真）や高坏など土器全体が揃う立派なものになりました。



土器出土状況



S字状口縁台付甕

最新の考古学情報 2 <sup>えんめいじ</sup> **延命寺遺跡** (山梨市落合 西関東連絡道路建設予定地)

## 川の中から遺物が出土

砂礫や粘土などからなる川の堆積層の一部から土器や木製品などの遺物が出土！

今から約1600年前の古墳時代前期のもの。遺物が出土したのは、砂礫を含まない、きめの細かい粘土層であり、ゆっくり流れる川の中に土器が沈んでいったと推定できます。

延命寺遺跡の周辺は、かつての笛吹川本流が流れ、たびたび水害を受けた土地です。この近くにあった集落跡が流され土器や木製品などが残されたものと考えられます。

この土器は、土の圧力で割れていますが、土器全体が残っています。煮炊きに使われたもので、炉の中に置くために、台が付いているので「台付甕」と呼ばれています。最も薄いところでは厚さ3ミリ程度と薄手につくられているため、全体が残っている貴重な資料です。



## 埋蔵文化財センターからのお知らせ

埋蔵文化財センターでは、学校を対象とした授業の支援講座や考古資料等の貸出、一般県民の方々を対象としたイベント等をおこなっています。ぜひ、ご利用下さい！

### 出前支援事業

埋文センターの職員が学校に出張し、土器づくりや石器づくりの授業をお手伝いします。

〈本年度の実績〉

☆土器作り：六郷小学校など5校

☆石器作り：身延西小学校など2校

☆火起体験：ろう学校など4校

☆その他：土偶づくり・講座など

※メニューは相談に応じます。 **学校向け**

### 職場体験

遺跡の発掘調査や出土遺物の整理など埋蔵文化財の仕事が体験できます。

中・高校生が対象です。

**学校向け**

### 考古資料貸出キット

縄文から平安そして江戸時代まで、ナベや食器はどのように変化していくのでしょうか。実際に遺跡から出土した土器や石器を貸出セットにしました。授業などでご活用ください。

※資格が必要な場合があります。

**学校向け**

### まいぶん映像ライブラリー (DVD)貸出

埋文センターの仕事である発掘調査の様子や土器づくり・火起しの技などを紹介しています。

貸出希望者は、埋蔵文化財センターへご連絡ください。※メニューは相談に応じます。

**学校向け**

### 体験発掘セミナー

県民のみなさんに発掘調査に親しんでいただくため、体験発掘セミナーを開催しています。

※開催は不定期ですので、HPで、ご確認ください。

**一般向**

## 埋文ホームページのご案内

ホームページで、あなたの町の身近にある遺跡の紹介や各種イベント、学校向け考古教材や出前支援事業などの申込書などを掲載しています。

情報が盛りだくさんですので、ぜひこの機会にアクセスしてみたいはいかがですか？

### これからの行事予定

- ・上半期遺跡調査発表会 (10月7日)
- ・埋文シンポジウム (2月)
- ・下半期遺跡調査発表会 (3月上旬)
- ・遺跡展2007 (3月中旬～4月上旬)

### 山梨県埋蔵文化財センター

[http://www.pref.yamanashi.jp/  
barrier/html/maizou-bnk/index.html](http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.html)

### 編集後記

最新発掘情報に掲載した石原田遺跡と延命寺遺跡のふたつの遺跡は、ともに大きな川の強い影響下で形成された遺跡であり、これらの近くでは安定した時代には集落が営まれたことを示すものとして大いに注目されます。

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第24号

発行日 2006年10月1日  
編集 山梨県埋蔵文化財センター  
発行 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923  
Tel 055-266-3016 Fax 055-266-3882  
印刷 株式会社南堂印刷所